

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称 : シーカエマコ S 100 (旧) マスターエマコ S 100
製品コード : 000000000057406620

供給者の会社名称、住所及び電話番号

供給者の会社名称 : シーカ・ジャパン株式会社
住所 : 神奈川県茅ヶ崎市萩園 2722
電話番号 : +81467849640
FAX番号 : +81467849648

推奨用途及び使用上の制限

推奨用途 : 建設用化学品
使用上の制限 : 工業用および専門作業員用のみ。

2. 危険有害性の要約

化学品の GHS 分類

引火性液体 : 区分 2
急性毒性 (吸入) : 区分 4
皮膚腐食性/刺激性 : 区分 2
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性 : 区分 2
皮膚感作性 : 区分 1
生殖細胞変異原性 : 区分 2
発がん性 : 区分 2
生殖毒性 : 区分 1A
授乳に対する又は授乳を介した影響
特定標的臓器毒性 (単回ばく : 区分 1 (中枢神経系, 呼吸器系)

版番号 1.0 改訂日: 2023/09/21 整理番号: 960000015766 前回改訂日: - 初回作成日: 2023/09/21

露)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 2 (全身毒性, 肝臓, 腎臓, 血液系)

特定標的臓器毒性 (単回ばく露) : 区分 3 (気道刺激性, 麻酔作用)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 1 (中枢神経系, 腎臓, 骨)

特定標的臓器毒性 (反復ばく露) : 区分 2 (全身毒性)

水生環境有害性 短期 (急性) : 区分 1

水生環境有害性 長期 (慢性) : 区分 2

GHS ラベル要素

絵表示又はシンボル :



注意喚起語 : 危険

危険有害性情報 :

- H225 引火性の高い液体及び蒸気。
- H315 皮膚刺激。
- H317 アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
- H319 強い眼刺激。
- H332 吸入すると有害。
- H335 呼吸器への刺激のおそれ。
- H336 眠気又はめまいのおそれ。
- H341 遺伝性疾患のおそれの疑い。
- H351 発がんのおそれの疑い。
- H360 生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
- H362 授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
- H370 臓器 (中枢神経系, 呼吸器系) の障害。
- H371 臓器 (全身毒性, 呼吸器系, 肝臓, 腎臓, 血液系) の障害のおそれ。
- H372 長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (中枢神経系, 腎臓, 骨) の障害。
- H373 長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (全身毒性) の障害のおそれ。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/09/21	960000015766	初回作成日: 2023/09/21

H400 水生生物に非常に強い毒性。
H411 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

注意書き

安全対策:

- P201 使用前に取扱説明書を入手すること。
- P202 全ての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。
- P210 熱、高温のもの、火花、裸火及び他の着火源から遠ざけること。禁煙。
- P233 容器を密閉しておくこと。
- P240 容器を接地しアースをとること。
- P241 防爆型の【電気機器／換気装置／照明機器／機器】を使用すること。
- P242 火花を発生させない工具を使用すること。
- P243 静電気放電に対する措置を講ずること。
- P260 ミスト／蒸気を吸入しないこと。
- P263 妊娠中及び授乳期中は接触を避けること。
- P264 取扱い後は皮膚をよく洗うこと。
- P270 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。
- P271 屋外又は換気の良い場所でだけ使用すること。
- P272 汚染された作業衣は作業場から出さないこと。
- P273 環境への放出を避けること。
- P280 保護手袋／保護衣／保護眼鏡／保護面を着用すること。

応急措置:

- P303 + P361 + P353 皮膚（又は髪）に付着した場合：直ちに汚染された衣類を全て脱ぐこと。皮膚を水【又はシャワー】で洗うこと。
- P304 + P340 + P312 吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。気分が悪いときは医師に連絡すること。
- P305 + P351 + P338 眼に入った場合：水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。
- P308 + P311 ばく露又はばく露の懸念がある場合：医師に連絡すること。
- P333 + P313 皮膚刺激又は発しん（疹）が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
- P337 + P313 眼の刺激が続く場合：医師の診察／手当てを受けること。
- P362 + P364 汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯をすること。
- P370 + P378 火災の場合：消火するために乾燥砂、粉末消火剤（ドライケミカル）又は耐アルコール性フォームを使用すること。
- P391 漏出物を回収すること。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
 1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

保管:

P403 + P233 換気の良い場所で保管すること。容器を密閉しておくこと。

P403 + P235 換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。

P405 施錠して保管すること。

廃棄:

P501 内容物/容器を承認された処理施設に廃棄すること。

GHS 分類に該当しない他の危険有害性

重要な徴候及び想定される非 : この項に、有効な情報の記載がある場合、それは、GHS 分類の結果ではなく、物質もしくは混合物の総合的な危険性に寄与する可能性がある GHS 分類以外の危険性に関するものである。

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別 : 混合物

化学名又は一般名 : 記載の物質に基づく調剤 :
エポキシ樹脂

成分

化学名	CAS 番号	含有量 (% w/w)	化審法 (ENCS)/安衛法 (ISHL) 番号
トルエン	108-88-3	20	3-2, 3-60
シクロヘキサノン	108-94-1	>= 10 - < 20	3-2376
メチルエチルケトン	78-93-3	>= 1 - < 10	2-542
酸化第二鉄	1309-37-1	>= 1 - < 10	1-357, 5-5188
イソプロピルアルコール	67-63-0	>= 3 - < 10	2-207 2-(8)-319
アセトン	67-64-1	>= 3 - < 10	2-542
ビスフェノール A-エピクロルヒドリン樹脂	25068-38-6	>= 2.5 - < 10	
1-ブタノール	71-36-3	>= 3 - < 10	2-3049 2-(8)-299
メチルイソブチルケトン	108-10-1	2.7	2-542

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
 1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

2-ブトキシエタノール	111-76-2	2.7	2-407, 7-97, 2-2424
リン酸亜鉛	7779-90-0	2.3	1-1181, 1-526, 1-526
キシレン	1330-20-7	1	3-3, 3-60
エチルベンゼン	100-41-4	1	3-28, 3-60

4. 応急措置

- 一般的アドバイス : 救急隊員は自身の安全に注意を払うこと。
汚れた衣服は直ちに置き替える。
- 吸入した場合 : 蒸気/エアゾールを吸入して具合が悪くなった場合、新鮮な空気の場所へ移動させ、医師の診察を受けること。
- 皮膚に付着した場合 : 皮膚に付着した場合、直ちに水と石鹼で十分に洗い流す。
いかなる場合にも有機溶剤を使用してはいけない。
刺激が続くようであれば、医師の診察を受けること。
- 眼に入った場合 : 直ちにまぶたを開き流水で15分以上洗い流した後、眼科医の診察を受ける。
- 飲み込んだ場合 : 直ちに口をすすぎ、200-300mlの水を飲み、医者の診察を受ける。
無理に吐かせないこと。
- 急性症状及び遅発性症状の最も重要な徴候症状 : 皮膚刺激。
アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。
強い眼刺激。
吸入すると有害。
呼吸器への刺激のおそれ。
眠気又はめまいのおそれ。
遺伝性疾患のおそれの疑い。
発がんのおそれの疑い。
生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。
授乳中の子に害を及ぼすおそれ。
臓器の障害。
長期にわたる、又は反復ばく露による臓器の障害。
- 医師に対する特別な注意事項 : 症状に応じた治療を行う。

5. 火災時の措置

版番号 1.0 改訂日 2023/09/21 整理番号 960000015766 前回改訂日: - 初回作成日: 2023/09/21

- 適切な消火剤 : 泡
水噴霧
粉末
二酸化炭素 (CO₂)
- 使ってはならない消火剤 : 棒状放水
- 有害燃焼副産物 : 有害な蒸気
窒素酸化物
ヒューム/煙
カーボンブラック
炭素酸化物
- 特有の消火方法 : 燃焼物および火災条件により危険度が変わる。
火に暴露された場合は、噴霧水によって容器を冷却する。
汚染された消火用水を別途回収すること。下水または廃水処理施設に流さないこと。
汚染された消火用水は、法令に従い処分すること。
- 消火を行う者の保護 : 自給式呼吸器を着用のこと。

6. 漏出時の措置

- 人体に対する注意事項、保護具及び緊急時措置 : 蒸気/エアゾル/スプレーミストを吸い込んではいけない。
保護眼鏡/保護面を着用すること。
もしも、高濃度の蒸気に曝露されたら、直ちにそこを離れること。
保護具を着用する。
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。
- 環境に対する注意事項 : 容器に汚染水/消火用水を取り集める。
排水溝等に流出させない。
- 封じ込め及び浄化の方法及び機材 : 大量にこぼれた場合は機械的に回収 (ポンプにより除去) し、廃棄すること。
不活性な吸収材 (砂、土等) を使用して回収すること。
回収した製品を直ちに処分すること。

7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い**
- 安全取扱注意事項 : エアゾールを発生させない。
ミスト/蒸気の吸入を避けること。
直接肌に触れることは避けてください。
適切に使用する場合、特別な対策は必要ない。

版番号 1.0 改訂日 2023/09/21 整理番号 960000015766 前回改訂日: - 初回作成日: 2023/09/21

- 接触回避 : 強酸化剤
- 衛生対策 : 作業中は、飲食や喫煙をしない。
作業後に手洗い、洗眼をする。
作業後に皮膚を洗浄し、皮膚保護剤を塗布すること。
手袋は使用前に定期的に点検すること。小穴がある場合など、必要に応じて手袋を交換すること。
- 保管**
- 保管状態に関する追加情報 : 容器を密閉しておくこと。
発火源から離しておいてくださいー禁煙。
通気の良い場所で容器を保管します。
直射日光を避ける。
- 推奨された保管温度 : 5 - 35 ° C

8. ばく露防止及び保護措置

作業環境における成分別暴露限界/許容濃度

成分	CAS 番号	指標 (暴露形態)	管理濃度 / 基準濃度 / 許容濃度	出典
トルエン	108-88-3	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 188 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第1群: ヒトに対して生殖毒性を示すことが知られている物質, 経皮吸収			
		TWA	20 ppm	ACGIH
シクロヘキサノン	108-94-1	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	25 ppm 100 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	20 ppm	ACGIH
		STEL	50 ppm	ACGIH
メチルエチルケトン	78-93-3	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	200 ppm 590 mg/m3	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	300 ppm	ACGIH

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
 1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

酸化第二鉄	1309-37-1	OEL-M (吸入性粉じん)	1 mg/m ³ (鉄)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		OEL-M (総粉じん)	4 mg/m ³ (鉄)	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA (呼吸濃度)	5 mg/m ³	ACGIH
イソプロピルアルコール	67-63-0	ACL	200 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-C	400 ppm 980 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	200 ppm	ACGIH
		STEL	400 ppm	ACGIH
アセトン	67-64-1	ACL	500 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	200 ppm 475 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
		TWA	250 ppm	ACGIH
		STEL	500 ppm	ACGIH
1-ブタノール	71-36-3	ACL	25 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-C	50 ppm 150 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 経皮吸収			
		TWA	20 ppm	ACGIH
メチルイソブチルケトン	108-10-1	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	50 ppm 205 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない, または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。			
		TWA	20 ppm	ACGIH
		STEL	75 ppm	ACGIH
2-ブトキシエタノール	111-76-2	ACL	25 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-C	20 ppm 97 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)

版番号 1.0 改訂日: 2023/09/21 整理番号: 960000015766 前回改訂日: -
初回作成日: 2023/09/21

	詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質, 経皮吸収			
		TWA	20 ppm	ACGIH
エチルベンゼン	100-41-4	ACL	20 ppm	安衛法 (管理濃度)
		OEL-M	20 ppm 87 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質, 経皮吸収, 発がん物質, 「第2群B」に分類される物質は, 証拠が比較的十分でない物質, すなわち, 疫学研究からの証拠が限定的であり, 動物実験からの証拠が十分でない。または, 疫学研究からの証拠はないが, 動物実験からの証拠が十分である。			
		TWA	20 ppm	ACGIH
キシレン	1330-20-7	OEL-M	50 ppm 217 mg/m ³	日本産業衛生学会 (許容濃度)
	詳細情報: 第2群: ヒトに対しておそらく生殖毒性を示すと判断される物質			
		ACL	50 ppm	安衛法 (管理濃度)
		TWA	20 ppm	ACGIH

生物学的職業暴露限度

成分	CAS 番号	対象物質	生物学的試料	試料採取時期	許容濃度	出典
トルエン	108-88-3	トルエン	血液	週の後半の作業終了前2時間以内	0.6 mg/l	日本産業衛生学会
		トルエン	尿	週の後半の作業終了前2時間以内	0.06 mg/l	日本産業衛生学会
		トルエン	血液中	労働週の最終シフト前	0.02 mg/l	ACGIH BEI
		トルエン	尿	シフト終了時 (暴露停止後できるだけ早く)	0.03 mg/l	ACGIH BEI
		o-クレゾール	尿	シフト終了時 (暴	0.3 mg/g-Cr	ACGIH BEI

版番号
1.0改訂日:
2023/09/21整理番号:
960000015766前回改訂日:-
初回作成日: 2023/09/21

				露停止後 できるだけ 早く)		
シクロヘキサノン	108-94-1	1,2 - シク ロヘキサ ジオール	尿	週の後半 の作業終 了時	80 mg/l	ACGIH BEI
		シクロヘキ サノール	尿	シフト終 了時 (暴 露停止後 できるだ け早く)	8 mg/l	ACGIH BEI
メチルエチルケトン	78-93-3	メチルエチ ルケトン	尿	作業終了 時または 高濃度曝 露後数時 間以内	5 mg/l	日本産業 衛生学会
		MEK	尿	シフト終 了時 (暴 露停止後 できるだ け早く)	2 mg/l	ACGIH BEI
イソプロピルアルコー ル	67-63-0	アセトン	尿	週の後半 の作業終 了時	40 mg/l	ACGIH BEI
アセトン	67-64-1	アセトン	尿	作業終了 前2時間 以内	40 mg/l	日本産業 衛生学会
		アセトン	尿	シフト終 了時 (暴 露停止後 できるだ け早く)	25 mg/l	ACGIH BEI
メチルイソブチルケト ン	108-10-1	メチルイソ ブチルケト ン	尿	作業終了 時	1.7 mg/l	日本産業 衛生学会
		MIBK	尿	シフト終 了時 (暴 露停止後 できるだ け早く)	1 mg/l	ACGIH BEI
2-ブトキシエタノール	111-76-2	ブトキシ酢 酸 (BAA)	尿	シフト終 了時 (暴 露停止後 できるだ け早く)	200 mg/g-Cr	ACGIH BEI

版番号 1.0 改訂日: 2023/09/21 整理番号: 960000015766 前回改訂日: -
 初回作成日: 2023/09/21

エチルベンゼン	100-41-4	マンデル酸	尿	作業終了時	150 mg/g-Cr	日本産業衛生学会
		マンデル酸とフェニルグリオキシル酸の和	尿	週の後半の作業終了時	200 mg/g-Cr	日本産業衛生学会
		エチルベンゼン	尿	作業終了時	15 μ g/l	日本産業衛生学会
		マンデル酸及びフェニルグリオキシル酸の合計	尿	シフト終了時(暴露停止後できるだけ早く)	0.15 g/g クレアチニン	ACGIH BEI
キシレン	1330-20-7	総メチル馬尿酸 (o-, m-, p-三異性体の総和)	尿	週の後半の作業終了時	800 mg/l	日本産業衛生学会
		メチル馬尿酸	尿	シフト終了時(暴露停止後できるだけ早く)	1.5 g/g クレアチニン	ACGIH BEI

保護具

呼吸用保護具 : 呼吸保護具(換気の悪い場合)
 有機、無機、無機酸及びアルカリ性化合物のガス/蒸気用複合フィルター(例: EN14387 タイプ ABEK)

手の保護具

備考 : 耐薬品性保護手袋 (EN 374) 種類が多岐にわたるため、製造業者が指示した方法を遵守すること。補足: 仕様は、試験、文献データ及び手袋製造業者の情報に基づくもの、あるいは類似の物質から類推されたものである。条件が多いため(温度など)、耐薬品性保護手袋の実際の使用時間は試験で別途得られた物質透過時間よりもかなり短いと考えなければならない。
 長時間の直接接触でも問題ない素材(保護指針 6 に準ずることが望ましい。EN 374 によると、透過時間は 480 分以上であること。): ブチルゴム(ブチル)、肉厚 0.7 mm フッ素ゴム(FKM)、肉厚 0.7 mm
 短期間の接触到に適した素材(保護指針 2 に準ずることが望ましい。EN 374 で、透過時間は 30 分以上であること。) ポリ塩化ビニル(PVC)、肉厚 0.7 mm クロロプレンゴム(CR)、肉

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/09/21	960000015766	初回作成日: 2023/09/21

- 厚 0.5 mm ニトリルゴム (NBR)、肉厚 0.4 mm
- 眼の保護具 : サイドシールド付き安全眼鏡(フレームゴーグル) (例 EN 166)
- 皮膚及び身体の保護具 : 作業および予想暴露量に基づいて、保護具を選択すること。前掛け、保護靴、耐薬品性保護衣等 (飛散の場合は、EN 14605 に従い、粉塵の場合は、EN ISO 13982 に従う。)
- 保護対策 : ガス/蒸気/エアゾールを吸入しないこと。
皮膚、眼、衣服への接触を避ける。
曝露を避ける一使用前に特別指示を受ける。
適切な安全衛生管理方法に従って取り扱うこと。
上下一体型作業衣の着用が望ましい。

9. 物理的及び化学的性質

- 物理状態 : 液体
- 色 : 褐色
- 臭い : 有機性, 溶剤臭
- 臭いのしきい(閾)値 : 不定
- 融点/凝固点 : データなし
- 沸点/沸騰範囲 : 79.6 - 155 °C
- 可燃性 (液体) : 可燃性液体類
- 爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界
爆発範囲の上限 / 可燃上限 : 11.5 % (V)
値
爆発範囲の下限 / 可燃下限 : 1.27 % (V)
値
- 引火点 : 4 °C
- 自己発火性 : 自己発火性なし。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

分解温度	:	通常の取扱い条件下で危険分解物なし。
pH	:	データなし
蒸発速度	:	データなし
自然発火温度	:	420 ° C
粘度		
粘度 (粘性率)	:	データなし
動粘度 (動粘性率)	:	> 20.5 mm ² /s (40 ° C)
溶解度		
水溶性	:	データなし
溶媒に対する溶解性	:	データなし
n-オクタノール/水分配係数 (log 値)	:	混合物には適用されない
蒸気圧	:	9,492 Pa (20 ° C)
密度及び/又は相対密度 比重	:	データなし
密度	:	1.14 - 1.21 gPcm ³ (20 ° C)
相対ガス密度	:	データなし
爆発特性	:	非爆発性
酸化特性	:	火災伝播性はない。

10. 安定性及び反応性

反応性	:	指示通りの貯蔵と取扱い条件下では有害な反応は起こさない。
化学的安定性	:	製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
危険有害反応可能性	:	製品は取扱説明書に従って貯蔵すれば安定である。
避けるべき条件	:	加熱を避ける。 直射日光を避けること。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/09/21	960000015766	初回作成日: 2023/09/21

混触危険物質 : 強酸化剤
危険有害な分解生成物 : 一酸化炭素

11. 有害性情報

急性毒性

吸入すると有害。

皮膚腐食性/刺激性

皮膚刺激。

眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性

強い眼刺激。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

皮膚感作性

アレルギー性皮膚反応を起こすおそれ。

呼吸器感作性

データが不足しているので分類されていない。

生殖細胞変異原性

遺伝性疾患のおそれの疑い。

発がん性

発がんのおそれの疑い。

生殖毒性

生殖能又は胎児への悪影響のおそれ。

授乳中の子に害を及ぼすおそれ。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

呼吸器への刺激のおそれ。

眠気又はめまいのおそれ。

臓器 (中枢神経系, 呼吸器系) の障害。

臓器 (全身毒性, 呼吸器系, 腎臓, 肝臓, 血液系) の障害のおそれ。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

長期にわたる、又は反復暴露による臓器 (中枢神経系, 腎臓, 骨) の障害。

長期にわたる、又は反復ばく露により臓器 (全身毒性) の障害のおそれ。

誤えん有害性

データが不足しているので分類されていない。

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

詳細情報

製品:

備考 : 通常の使用条件下では健康を損ねることが知られておらず、
予想もされない。
本品は未試験である。毒性に関する記述は、各成分の特性に
基づくものである。

12. 環境影響情報

生態毒性

製品:

環境毒性アセスメント

水生環境有害性 短期 (急性) : 水生生物に非常に強い毒性。

水生環境有害性 長期 (慢性) : 長期継続的影響によって水生生物に毒性。

成分:

リン酸亜鉛:

M-ファクター (水生環境有害性 短期 (急性)) : 1

M-ファクター (水生環境有害性 長期 (慢性)) : 1

残留性・分解性

データなし

生体蓄積性

データなし

土壌中の移動性

データなし

オゾン層への有害性

非該当

他の有害影響

製品:

生態系に関する追加情報 : 前処理なしに河川等に流してはならない。

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日: -
1.0	2023/09/21	960000015766	初回作成日: 2023/09/21

本品は未試験である。環境毒性に関する記述は、各成分の特性に基づくものである。

13. 廃棄上の注意

廃棄方法

- 残余廃棄物 : 国のまたは地方の法定事項に従うこと。
残渣は、この物質/製品と同様の方法で廃棄しなければならない。
- 汚染容器及び包装 : 汚染された包装から内容物を可能なかぎり取り除き、包装を完全に浄化した上でリサイクルに回すこと。

14. 輸送上の注意

国際規制

陸上輸送 (UNRTDG)

- 国連番号 (UN number) : UN 1263
国連輸送名 (Proper shipping name) : PAINT
国連分類 (Class) : 3
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : 3
環境有害性 : 非該当

航空輸送 (IATA-DGR)

- UN/ID 番号 (UN/ID number) : UN 1263
国連輸送名 (Proper shipping name) : Paint
国連分類 (Class) : 3
容器等級 (Packing group) : II
ラベル (Labels) : Flammable Liquids
梱包指示 (貨物機) (Packing instruction (cargo aircraft)) : 364
梱包指示 (旅客機) (Packing instruction (passenger aircraft)) : 353

海上輸送 (IMDG-Code)

- 国連番号 (UN number) : UN 1263
国連輸送名 (Proper shipping name) : PAINT
国連分類 (Class) : 3
容器等級 (Packing group) : II

版番号 改訂日: 整理番号: 前回改訂日: -
 1.0 2023/09/21 960000015766 初回作成日: 2023/09/21

ラベル (Labels) : 3
 EmS コード (EmS Code) : F-E, S-E
 海洋汚染物質 (該当・非該当) : 非該当
 (Marine pollutant)

MARPOL 73/78 附属書 II 及び IBC コードによるばら積み輸送される液体物質 (該当・非該当)
 供給された状態の製品には非該当。

15. 適用法令

関連法規

消防法

第四類, 第一石油類, 非水溶性液体, (200 リットル), 危険等級 II

化審法

優先評価化学物質

化学名	番号
トルエン	46
シクロヘキサノン	131
イソプロピルアルコール	102
4, 4'-イソプロピリデンジフェノールと 1-クロロ-2, 3-エポキシプロパンの重縮合物 (液状のものに限る。)	87
1-ブタノール	124
メチルイソブチルケトン	116
2-ブトキシエタノール	109
エチルベンゼン	50
キシレン	125

労働安全衛生法

製造等が禁止される有害物

非該当

製造の許可を受けるべき有害物

非該当

健康障害防止指針公表物質

化学名
メチルイソブチルケトン

変異原性の認められた化学物質 (既存化学物質)

化学名
ビスフェノール A 型エポキシ樹脂中間体

変異原性の認められた化学物質 (新規届出化学物質)

非該当

版番号 1.0 改訂日 2023/09/21 整理番号 960000015766 前回改訂日: - 初回作成日: 2023/09/21

名称等を通知すべき危険物及び有害物

法第 57 条の 2 (施行令別表第 9)

化学名	含有量 (%)	備考
トルエン	>=20 - <30	-
シクロヘキサノン	>=10 - <20	-
メチルエチルケトン	>=1 - <10	-
酸化鉄	>=1 - <10	-
プロピルアルコール	>=1 - <10	-
アセトン	>=1 - <10	-
ブタノール	>=1 - <10	-
メチルイソブチルケトン	>=1 - <10	-
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	>=1 - <10	-
エチルベンゼン	>=1 - <10	-
キシレン	>=1 - <10	-

名称等を表示すべき危険物及び有害物

法第 57 条 (施行令第 18 条)

化学名	備考
トルエン	-
シクロヘキサノン	-
メチルエチルケトン	-
酸化鉄	-
プロピルアルコール	-
アセトン	-
ブタノール	-
メチルイソブチルケトン	-
エチレングリコールモノノルマルブチルエーテル	-
エチルベンゼン	-
キシレン	-

特定化学物質障害予防規則 - 第二類物質

化学名
メチルイソブチルケトン

鉛中毒予防規則

非該当

四アルキル鉛中毒予防規則

非該当

有機溶剤中毒予防規則

第二種有機溶剤等

労働安全衛生法施行令 - 別表第一 (危険物)

引火性の物

版番号 1.0 改訂日: 2023/09/21 整理番号: 960000015766 前回改訂日: -
 初回作成日: 2023/09/21

毒物及び劇物取締法

非該当

化学物質排出把握管理促進法

第一種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
トルエン	300	20
メチルイソブチルケトン	737	2.7
エチレングリコールモノブチルエーテル	594	2.7
エチルベンゼン	53	1.0
キシレン	80	1.0

第二種指定化学物質

化学名	管理番号	含有量 (%)
ビス(りん酸)三垂鉛	793	2.3

16. その他の情報

日付フォーマット : 年/月/日

その他の略語の全文

ACGIH : 米国。ACGIH 限界閾値 (TLV)
 ACGIH BEI : ACGIH - 生物学的暴露指標 (BEI)
 安衛法 (管理濃度) : 作業環境評価基準、健康障害防止指針
 日本産業衛生学会 : 許容濃度等の勧告 - II. 生物学的許容値
 日本産業衛生学会 (許容濃度) : 日本産業衛生学会 許容濃度等の勧告 - I. 化学物質の許容濃度
 ACGIH / TWA : 8 時間、時間加重平均
 ACGIH / STEL : 短時間暴露限界
 安衛法 (管理濃度) / ACL : 管理濃度、基準濃度
 日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-M : 許容濃度
 日本産業衛生学会 (許容濃度) / OEL-C : 最大許容濃度

AIIC - オーストラリアの工業化学品インベントリ; ANTT - ブラジル国家輸送機関; ASTM - 米国材料試験協会; bw - 体重; CMR - 発ガン性、変異原性、生殖毒性があるとされる物質; DIN - ドイツ規格協会基準; DSL - 国内物質リスト (カナダ); ECx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる濃度; ELx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる負荷割合; EmS - 緊急時のスケジュール; ENCS - 化審法の既存化学物質リスト; ErCx - 任意の X% の反応を及ぼすと考えられる成長率; ERG - 緊急対応の手引き; GHS - 世界調和システム; GLP - 試験実施規範; IARC - 国際がん研究機関; IATA - 国際航空運送協会; IBC - 危険化学品のばら積運送のための船舶の構造及び設備に関する国際規則; IC50 - 50% 阻害濃度; ICAO - 国際民間航空機関; IECSC - 中国現

版番号	改訂日:	整理番号:	前回改訂日:-
1.0	2023/09/21	960000015766	初回作成日: 2023/09/21

有化学物質名録; IMDG - 国際海上危険物規程; IMO - 国際海事機関; ISHL - 労働安全衛生法 (日本); ISO - 国際標準化機構; KECI - 韓国既存化学物質名録; LC50 - 50%致死濃度; LD50 - 50%致死量 (半数致死量); MARPOL - 船舶による汚染の防止のための国際条約; n. o. s. - 他に品名が明示されているものを除く; Nch - チリ規則; NO(A)EC - 無有害性影響濃度; NO(A)EL - 無有害性影響レベル; NOELR - 無有害性影響負荷割合; NOM - メキシコ公式規則; NTP - 米国国家毒性プログラム; NZIoC - ニュージーランド化学物質台帳; OECD - 経済協力開発機構; OPPTS - 化学物質安全性・公害防止局; PBT - 難分解性・生体蓄積性・有毒性(物質); PICCS - フィリピン化学物質インベントリー; (Q)SAR - (定量的)構造活性相関; REACH - 化学物質の登録、評価、認可および登録 (REACH) に関する規則 (EC) No 1907/2006; SADT - 自己加速分解温度; SDS - 安全データシート; TECI - タイに既存の化学物質のインベントリ; TCSI - 台湾化学物質インベントリー; TDG - 危険物輸送; TSCA - 有害物質規制法(米国); UN - 国連; UNRTDG - 国際連合危険物輸送勧告; vPvB - 非常に難分解及び非常に高蓄積性; WHMIS - 作業場危険有害性物質情報システム

記載内容は、現時点で入手できる資料、情報にもとづき、当該製品の安全な取り扱い、使用、処理、保管、輸送、廃棄、漏洩時の処理等のために作成されたものですが、記載されている情報はいかなる保証をするものではなく、品質を特定するものでもありません。また、この SDS のデータはここで指定された物質についてのみのものであり、指定されていない工程での使用や、指定されていない材料と組み合わせた使用に関しては有効ではありません。

JP / JA